横山　雅人
（新風会）

ピロリ菌検査

Q 中学2年生の貧血検査で採血した血液を使ってピロリ菌検査を追加してはどうか。

A ピロリ菌感染が胃がんのリスクを高めることは既に示されているが、小児領域のガイドラインでは学校単位のスクリーニング検査について慎重な立場を示している。将来的な導入は、国や学会の提言、他市町の実施状況を注視し、総合的に検討しながら調査・研究する。

駅伝・マラソン大会の新規開催

Q 本市が旗振り役となり、近隣市町が連携した広域での新規の駅伝・マラソン大会開催を検討する協議会を設置してはどうか。

A 現在、本市が旗振り役となり広域ウォーキングイベントを実施している。まちのにぎわいづくりのため、スポーツの持つ力を活用する広域のスポーツイベントは大変意義のあるものと考える。他の自治体の実例や協議会の設置も含め、調査・研究していく。

他の質問事項
長伏公園再整備

岡田　美喜子
（新未来21）

三島駅北口周辺の交通混雑緩和のために

Q 三島駅北口ロータリー周辺の夜の渋滞解消に向け、調査状況を踏まえた短期・中期の具体的対策内容など今後の方針を伺う。

A 北口ロータリーの交通混雑解消に向け短期的対応として、令和7年度、北口広場の西側市道に停車帯を設置する工事を行う。中期的対応としては、南口駅前広場の改修完了後に北口広場の改修ができるよう調査や設計など準備を行っていきたい。

小中学校の空調設備の早期実現

Q 学校体育館の学習環境と避難所機能を踏まえ、猛暑対策として空調設置が求められる。可能性調査の結果を考慮した整備方針を伺う。

A 体育館への空調設置は急務であると考えているため、国交付金の対象期間である令和15年度までの計画的な整備を念頭に置きつつ、断熱性確保工事等について、より安価かつ効果的な手法の検討を行いながら、令和8年度から順次中学校分の実施設計を進めていく。

他の質問事項
発明クラブ等のものづくりによる次世代育成

鈴木　文子
（公明）

「あかちゃんのへや」で搾乳できる取り組み

Q「あかちゃんのへや」に「搾乳できます」のロゴマークの入ったステッカーを掲示し、安心して搾乳できる環境を整えられないか。

A 母子の健康を守り、子育て家庭が安心して生活できる環境をさらに整備するため、お母さん一人でも気軽に利用できるよう、搾乳できることの表示を行い、社会全体で搾乳に対する知識や理解が深まるよう努めていきたい。

子育て部分休業制度

Q 障がい児は学年が上がっても親の支援が必要である。市職員の子育て部分休業を子どもが満18歳の年度末までを対象としてはどうか伺う。

A 子育て部分休業制度は、既存の部分休業制度の拡充となることから、業務量の増加が見込まれる他の職員の理解や協力を求めつつ、障がいのある子どもを育てる職員への勤務時間の配慮により、介助や通院などをする際の働き方について選択肢を増やせるよう検討する。

他の質問事項
防災・減災対策

土屋　利絵
（新風会）

新庁舎建設事業費のための市債を減らしていくために

Q 人口減少が進む中、新庁舎建設などの大型事業が待ったなしで始まる。事業費の上限設定の必要性について伺う。

A 庁舎建設事業費の上限については確定はしていないものの、現在示している長期財政計画計上額として考えている。今後、工法等も含めコスト縮減を図り、都度必要な時期に議員にも説明し、事業を推進していく。

Q 可能な限り市債を少なくすることができるように、基金の積み立てを積極的に行うことが必要と考えるが、見解を伺う。

A 新庁舎は長きにわたり使用する公共施設であるため、起債を活用し、残る財源に庁舎建設基金を充てる。現在、基金積立額は約18億5千万円だが、今後諸事業を見直すなど取捨選択のもと適正な財政運営を展開し、できる限りの財源を捻出し、基金積立に努める。

他の質問事項
人件費を減らしていく必要性は

河野　月江
（日本共産党議員団）

認め合い支え合う多文化共生のまちづくりを

Q 国籍や民族、文化が異なる市民が、認め合い支え合いながら共に暮らしていけるまちづくりを進める上で、市の基本姿勢を伺う。

A 本市は、国籍に関わらず公平な立場で全ての市民を支援することを基本姿勢としている。今後も、市民や国際交流協会などの関係団体との継続的な意見交換と情報提供を通じて、常に検証・改善を行いながら、多文化共生社会の実現に向けた施策に取り組む。

Q 外国人市民との共生施策を計画的・系統的に推進していくための三島市多文化共生推進プラン策定の必要性と策定への見解を伺う。

A 三島市多文化共生推進プランの策定については、他市町の取り組みを参考に、外国人市民の増加状況や地域ニーズを踏まえ、必要性と実現可能性を総合的に判断し、将来的な策定も視野に調査・研究を進める。

他の質問事項
ついに総事業費283億円となった駅前再開発事業

甲斐　幸博
（無会派）

小中学校体育館の空調設備設置

Q 猛暑が続く中、子どもたちの命を守るため、空調設備設置による熱中症対策を優先順位を上げて取り組む必要があるのではないか。

A 体育館は教育現場のみならず避難所としての役割もあり、空調設置は優先課題であると考えている。国交付金の対象期間である令和15年度までの計画的な整備を念頭に置きつつ、令和8年度から、順次中学校分の実施設計を進めていく。

子どもや若者に関する問題解決の取り組み

Q 子どもや若者を支援する総合窓口をつくり、総合的に相談・支援を行うワンストップでの対応ができる体制を構築してはどうか。

A 現状では、青少年相談室及びこども家庭センターがその機能を果たすことで支援に努めていきたいと考えているが、将来的には、こども家庭センターに、子ども若者支援機能を加えた一体的な総合窓口を設置することを見据え、先進市の状況を調査研究していく。

他の質問事項
老朽化した水道管の撤去・交換の計画